

第12回(3月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和2年3月1日～令和2年3月31日 那覇港湾・空港整備事務所

異常確認の有無		工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	クビレミドロ監視地点及び、工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は3月10日のst.1で4.5mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は3月10日のst.4で4.1mg/Lであった。		<p>今月の県施工事は、県道20号線(泡瀬工区)で、埋戻し、鋼矢板引抜き、土のう撤去、汚濁防止膜撤去、資材撤去、裏込め材投入、裏込め材均し、栗石投入・均し、ブロック設置、捨石投入・均し、コンクリート打設、根固材設置、灯浮標撤去等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p> <p>今月の国施工事は、護岸工事及び鉄塔撤去工事で、汚濁防止膜撤去、灯浮標撤去、アンカーブロック移動、裏埋材投入・均しが行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p>
	クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は1.1mg/L、0.3～4.5mg/Lの範囲で推移していた。	
	工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は0.7mg/L、0.3～4.1mg/Lの範囲で推移していた。	
	流入部負荷量の調査地点	SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=15回(24計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(24計測中) 平均値は14.0mg/L、3.8～28.9mg/Lの範囲で推移していた。	
	流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。	3/5の28.9mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日0.0mm、前日2.5mm、当日9.0mmであり、降雨による濁水流入もみられなかった	
水質調査結果	#REF!		<p>【調査位置図】</p> 
	全ての地点で、監視基準を満足していた。		
基準超過時の気象概況			
基準超過時の工事状況			

第12回(3月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和2年3月1日～令和2年3月31日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視 観察 結果	<p>調査地点の最高値は3月1日(PM)のst.5で観測された4.2mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			
	水質 調査 結果	<p>工事の濁り監視地点基準値【st.5～8: SS=11mg/L】</p>	<p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は1.7mg/L、<1.0～4.2mg/Lの範囲で推移していた。</p>	<p>特になし</p>
		<p>流入部負荷量の調査地点</p>	<p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=24計測中13回 st.15=24計測中13回 SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=24計測中2回 st.15=24計測中0回</p>	<p>特になし</p>
		<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p>	<p>st.14: 3/10 (AM 下げ潮時)60mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が2.5mm、当日が23.5mmであった。降雨による濁水流入は見られなかった。 st.15: 3/10 (AM 下げ潮時)27mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が2.5mm、当日が23.5mmであった。降雨による濁水流入は見られなかった。</p>	
基準超過時の 気象概況	<p>基準超過時の気象概況は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p>	
基準超過時の 工事状況	<p>基準超過時の工事内容は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			

